

別表 評価基準

審査項目			評価基準	配点
企画内容の評価	基本的要件	事業目的との整合性	・事業の趣旨を理解し、仕様書の内容についてすべて提案しているか。	10
	企画内容に対する評価	訴求内容との整合性	・訴求ポイントを的確、適切に表現しているか ・仕様書に定める目的に配慮した計画となっているか。 ・目的に対して、効果的な手法・内容となっているか。	10
		企画内容の創造性	・より多くの県民を集客できるような興味・関心を引く工夫があるか。 ・幅広い年代に楽しめる内容となっているか。 ・誰もが気軽に参加できる配慮がされているか。	10
		企画内容の妥当性	・イベント実施までの準備など実現可能なスケジュールとなっているか。 ・会場全体の来場者の流れを考慮しているか。	10
小計				40
実施体制等の評価	業務実施主体	実施主体の適格性	・本業務が遂行可能な人員の確保がなされるとともに効果的な人員体制であると認められるか。	20
		業務スケジュール	・履行期間内に業務を着実に遂行できるスケジュールとなっているか。	15
		イベントの開催実績	・過去5年間に類似の事業実績は十分か。	15
経費	経費の妥当性	・見積書は妥当か。また、内訳に不自然な点はないか。	10	
小計				60
合計				100

※提案内容の水準を確保するため、最低基準点を合計点の6割(100点×0.5=60点)とし、それ以上の点数を得た参加者の中から最優秀提案者を選定するものとする。